

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

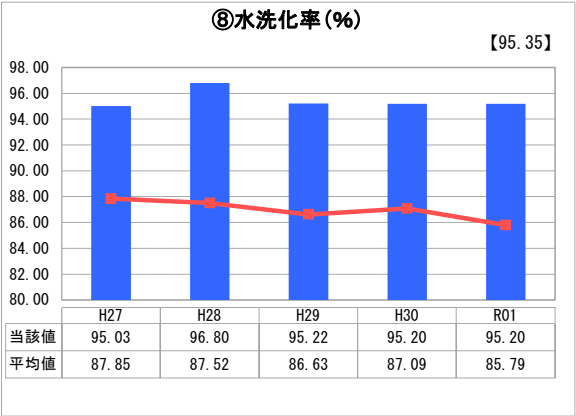
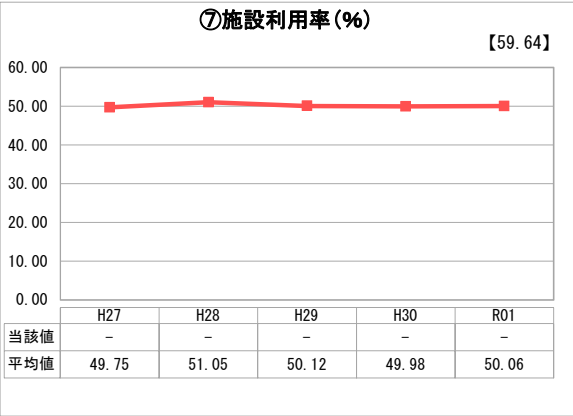
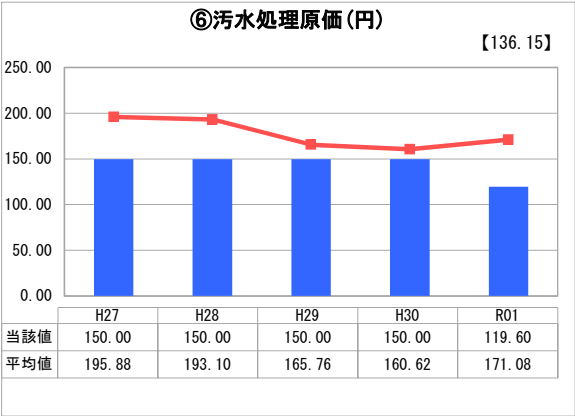
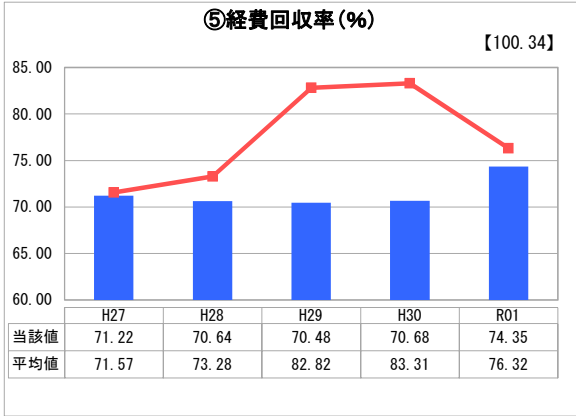
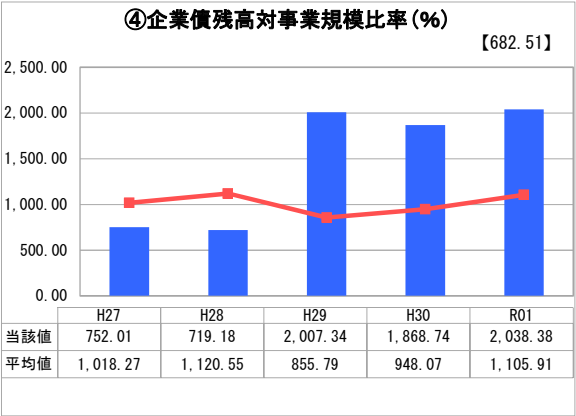
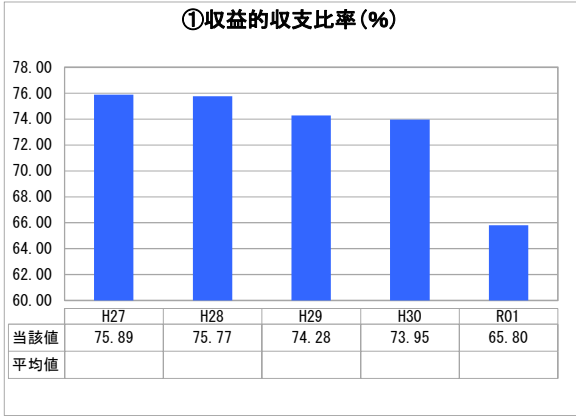
埼玉県 宮代町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cb2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	73.55	79.16	1,883

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
34,001	15.95	2,131.72
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
24,985	3.53	7,077.90

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率  
令和元年度は、令和２年度に地方公営企業法の適用を受けることに伴い、打ち切り決算としたため、65.80%となり、前年度以前と比較して減少しました。従来どおり試算すると75.1%となりおおよそ横ばいとなっています。経営改善に向けて経営戦略を策定し、使用料の適正化などを検討します。

④企業債残高対事業規模比率  
平成２９年度から令和２年度までポンプ場施設の長寿命化対策工事を行っているため企業債発行が増えたことにより当該指標が上がっています。今後は管路などの施設も老朽化を迎え、企業債発行額も増えることが見込まれますが、適切な投資規模となるよう努めます。

⑤経費回収率  
経営における使用料で賄えない分を一般会計からの繰入金に依存しているため、７０％台を維持しています。経費回収率を改善するには、適性かつ効率的な施設更新と適正な使用料水準を確保する必要があります。

⑧水洗化率  
類似団体と比較しても平均を大きく上回っている状況です。引き続き100%となるよう接続を推進します。

### 2. 老朽化の状況について

当町の下水道施設は古いもので施工後から概ね３０年経過しています。下水道施設の耐用年数は一般的に下水道管きょ等で５０年ですが、ポンプ場等の施設は一部の機械装置について１５年から２０年となっています。

当町は中継ポンプ場を２箇所所有しており、長寿命化計画に基づき、平成２８年度から令和２年度にかけて計画的な施設更新を行っているところです。

今後は、管路を含む下水道施設全体を維持するためのストックマネジメント計画を策定し、計画的に更新できるよう努めます。

## 全体総括

当町の下水道事業は経費回収率からもわかるとおり、使用料収入をもって、污水处理費を賄えていない状況にあります。これと同時に、供用開始から３０年あまり経過した施設の更新が見込まれます。

このような状況の下、令和２年度から公営企業法が適用され、経営状況がより正確に把握できるようになるため、経営戦略やストックマネジメント計画を策定し、より健全な経営に努めます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。